

平成16年度大阪大学総合技術研究会参加報告

新美 治利 (三重大学工学部技術部)

平成17年3月3日、4日の両日、大阪大学吹田キャンパスにおいて開催された、「平成16年度大阪大学総合技術研究会」に参加し、様々な情報を得ることが出来たので、その概要について報告する。

技術研究会は昭和51年に分子化学研究所から始まり、高エネルギー研究所、核融合科学研究所の3研究所で開催されてきた。今日では、3研究所に加えて各大学でも開催されるようになり、今回で30回目を迎える。

総合技術研究会としては、前回、平成14年東京大学以来である。規模大きく、8つの分科会及びポスターセッションに対し242件発表参加(表参照)があり、大阪大学吹田キャンパスを会場として行われた。また、全国の大学(44校)、高専(17校)、研究機関(10機関)およびメーカー(3社)から674名の参加があった。なお、三重大学からは、2件(ポスター)の発表および11名の参加があった。

ポスター発表で、情報システムグループ4名の連名(発表者中村 勝、梅田 直明、新美治利、平山かほる)で「業務運用・管理システムの開発と運用」と題して行われた。発表では、技術部業務運用・管理システムの開発手順として、要件の明確化、データベース設計・作成、システムの運用を行うサーバ設定、Web画面、プログラミング、試験運用、トラブル・セキュリティチェック、機能追加について説明し、5月より運用を開始したシステムの運用管理状況の説明 また、業務運用・管理システムとグループウェアの連携について紹介した。発表会場では、他大学等の方と情報交換ができ、有意義な情報得ることができた。

同じくポスター発表では、計測制御グループ3名の連名(発表者山本好弘、福永千佳己、山本みどり)で「Viscous fingering 計測システムの開発」と題して発表が行われていた。

表 分科会別の発表件数

分科会	分野名	口頭発表件数	ポスターセッション
1	工作技術・ガラス工作技術	28	5
2	装置技術	17	30
3	回路・計測・制御技術	17	17
4	極低温技術	13	3
5	情報・ネットワーク技術	28	19
6	生物技術	8	5
7	分析・評価技術	9	2
8	教育実験・演習・実習指導技術	18	23
合計		138	104